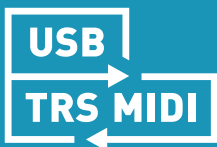


blueSky

— reverberator

日本語ユーザーマニュアル



strymon[®]

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	5
ライブエディット機能	7
ブースト / カット	7
MIDI エクスプレッションへの反応	8
パワーアップモード	9
入力レベル	9
バイパスモード	10
スピルオーバーモード	11
EXP / MIDI ジャックの設定	12
外部コントロール	14
エクスプレッションペダル セットアップ	14
フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペアモード	15
MultiSwitch Plus の設定	17
MultiSwitch Plus の使用法	18
blueSky のプリセットをMultiSwitch Plus でセーブする	18
MIDI 機能	19
MIDI 使用の準備、使用法	19
MIDI モードにおけるプリセットの保存	24
MIDI スペシフィケーション	25
MIDI プログラムチェンジ	25
MIDI CCs	26
ファクトリーリセット	27
主な仕様	29
スペシフィケーション	30
電源アダプター規格	30
Appendix 1: サンプルセッティング	31
Appendix 2: パワーアップモード クイックリファレンス	33
ジェネラル・オプション	34
MIDI & Jack オプション	35
Appendix 3: ライブエディットコントロール クイックリファレンス	36
品質保証に関して	38

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

VERB

3つの異なるリバーブタイプ（plate、room、spring）を切り替えます。

Plate：プロフェッショナルスタジオのビンテージプレート

Room：ベッドルームからアリーナまで広いサイズをカバーするルームリバーブ

Spring：ベストビンテージスプリングリバーブを忠実に再現

DECAY

リバーブのディケイ・タイム（減衰音）を調整します。

LOW

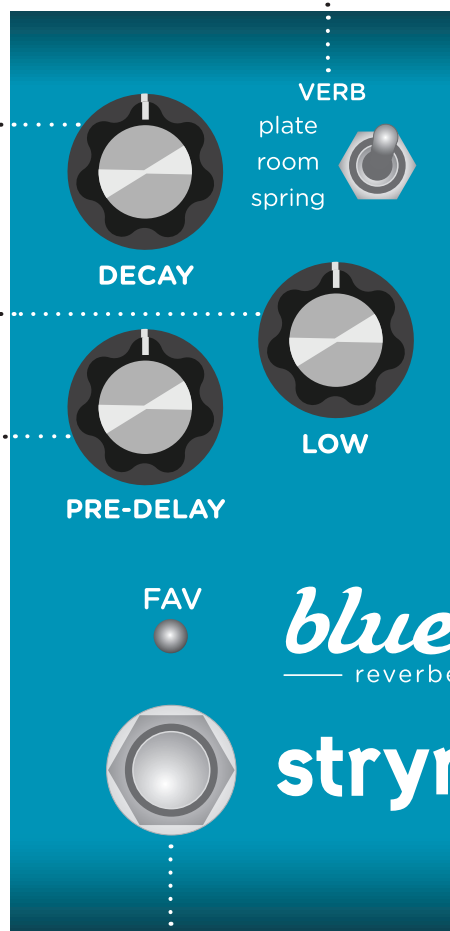
リバーブ信号の低域周波数のダンピング調整を行ないます。最小設定で最も低域が削られ、最大設定では低域のダンピングはありません。

PRE-DELAY

リバーブ効果がスタートするまでのディレイタイムを調整します。プリ-ディレイはクリアで美しいリバーブ効果を得るのに重要な要素です。自然なリバーブサウンドを得るには、長めの**プリ-ディレイ**と低めの**ミックス**（少ないリバーブ音）が最適です。

FAV

コントロールノブのセッティングをセーブ&リコールします。ステータスは**レッド**LEDで表示されます。



NOTE：FAVスイッチを長押しするとLEDが**ブルー**に点滅します。
再度押してセッティングを保存します。

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール



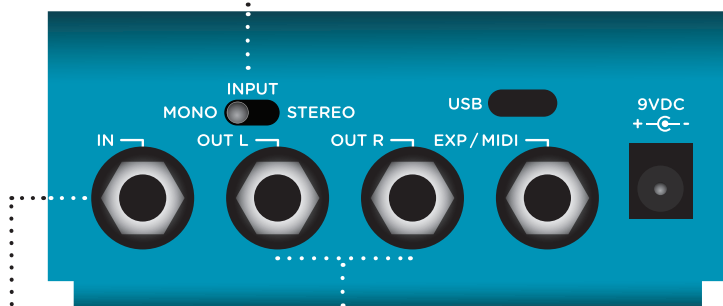
リアパネル I/O & コントロール

オーディオ入力セクター

MONO : ギターのようなモノ入力信号に使用します。

出力はステレオです。モノ出力での使用は**OUT L**のみを使用します。

STEREO : ステレオ入力信号の場合に選択します。出力はステレオです。



IN

モノラル、超低ノイズのディスクリート Class A JFET プリアンプ入力です。ステレオ入力にはTRSステレオアダプター又はTRSステレオケーブルを使用します。

OUTPUTS

ローインピーダンスのステレオ出力です。モノ出力使用時は**OUT L**のみ接続してください。

リアパネル I/O & コントロール

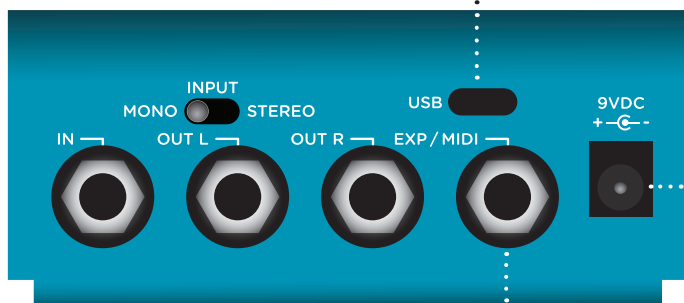
USB

MIDIコントロール、ファームウェアアップデートを行う際にコンピューターと接続するポートです。

9VDC

以下の条件を満たす電源アダプターをご使用ください。

- 9VDC センターマイナス
- 300mA以上



EXP / MIDI

本機を外部からコントロールできるマルチコミュニケーションジャックです。

以下のオペレーションモードが選択できます。（詳しくは[12ページをご覧ください。](#)）

エクスプレッションペダルモード：[ページ14](#)

フェイバリットモード：[ページ15](#)

MIDIモード：[ページ17 & 24](#)

MultiSwitch Plusとの使用：[ページ24](#)

ライブエディット機能

ブースト / カット

ペダルがオンになると、ボリュームの3dBブースト/カットが設定できます。

- 1 ONフットスイッチを長押しし、両 LEDが点滅したらスイッチを離します。



- 2 MIX (BOOST/CUT) ノブを回して出力レベルのブースト/カットを決めます。
ON LEDが、**グリーン** (-3dB)、**アンバー** (+3dB) に点灯します。
デフォルト設定は12時の位置です。
- 3 ONフットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI エクスプレッションへの反応

MIDIモード設定の際、本機がMIDIエクスプレッションCC#100を受け（0=ヒール〜127=トゥ）、TRSエクスプレッションペダルと同様のノブセッティングコントロール動作をするかを決定します。

- 1 ONフットスイッチを長押しします。両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 VERB (MIDI EXP) でMIDIエクスプレッションCC#100への反応を決定します。両LEDが一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを**plate**にセットするとMIDIエクスプレッションが**On**になり、一時的に**ブルー**に点灯します。- MIDIエクスプレッションに反応します。（デフォルト設定）
- スイッチを**spring**にセットするとMIDIエクスプレッションが**Off**になり、一時的に**レッド**に点灯します。- MIDIエクスプレッションに反応しません。

- 3 ONフットスイッチを押し、MIDIエクスプレッションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIエクスプレッションセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

パワーアップモード

入力レベル

エフェクトプロセッシングへの入力レベルの選択です。

- 1 **ON**フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **DECAY** (**INPUT LEVEL**) ノブで入力レベルモードを変更します。
ノブを回すとFAV LED がステータスカラーに点灯します。

インストルメント：**グリーン**（デフォルト設定） - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。

ライン：**レッド** - 入力ヘッドルームが10dB上がり、ラインレベルに対応します。

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
セッティングはプリセット毎に保存できません。

パワーアップモード

バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、長いケーブルでギターを繋いだ時に起こる（入力信号の）高域の劣化が防げます。

- 1 ONフットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MIX（BYPASS MODE）ノブでバイパスモードを変更します。
ON LEDがステータスカラーに点灯します。

トゥルーバイパス：グリーン（デフォルト設定）

バッファードバイパス：レッド

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

パワーアップモード

スピルオーバーモード

blueSkyをスピルオーバー モードにセットすると、バイパスまたはプリセットの切り替え時にリバーブ信号（ウェット）がそのまま残ります（出力されます）。

NOTE：バッファの設計上、スピルオーバーが再生される前に、使用中のプリセットが最低でも5秒はアクティブでないと正しく動作しません。バイパスの場合は即座に有効になります。

- 1 ONフットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **LOW (SPILLOVER MODE)** ノブを回し、スピルオーバー モード オン/オフを決定します。ノブを回すと両LEDが以下のステータスカラーに点灯します。

スピルオーバー モード-オフ：アンバー（デフォルト設定）

スピルオーバー モード-オン：パープル

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、スピルオーバー モードを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE：パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。セッティングはプリセット毎には保存されません。

パワーアップモード

EXP / MIDI ジャックの設定

- 1 FAVフットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MIX (EXP/MIDI JACK) でEXP/MIDIジャックの動作機能を変更します。
ON LEDが以下のステータスカラーに点灯します。

- エクスプレッションペダルモード：**グリーン**（デフォルト設定） - TRSエクスプレッションペダル（推奨25kΩ）を接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは14ページをご覧ください。）
- フェイバリットモード：**アンバー** - strymon MiniSwitchでフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは15ページをご覧ください。）
- MIDI モード：**ブルー** - strymon MultiSwitch Plus（3プリセット）でプリセットリコールが可能です。また、ジャックが1/4"TRS MIDI仕様になり、MIDIコントローラー（300プリセット）を接続してMIDIフル機能が使用できます。（[MultiSwitch Plus](#)に関しては17ページ、[MIDI](#)に関しては24ページをご覧ください。）

パワーアップモード

EXP / MIDI ジャックの設定



- ③ いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDIジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

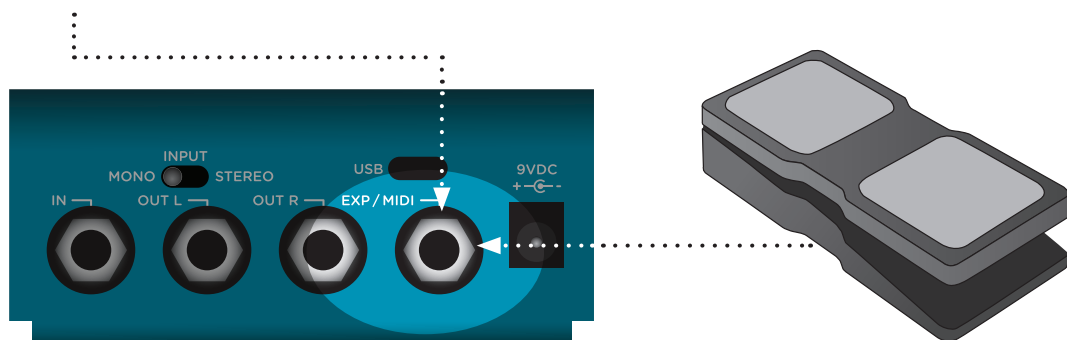
NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
プリセット毎には設定は保存されません。

外部コントロール

エクスプレッションペダル セットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- 1 EXP/MIDIジャックをエクスプレッションモードに設定します。
(詳細は12ページをご覧ください。)
- 2 EXP/MIDIジャックにエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。



- 3 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを同時に長押しします。
- 4 エクスプレッションペダルをヒール側にロックします。
FAV LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 5 ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
FAV LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 6 エクスプレッションペダルをトゥ側にロックします。
ON LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 7 ペダルのトゥポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
ON LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 8 いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

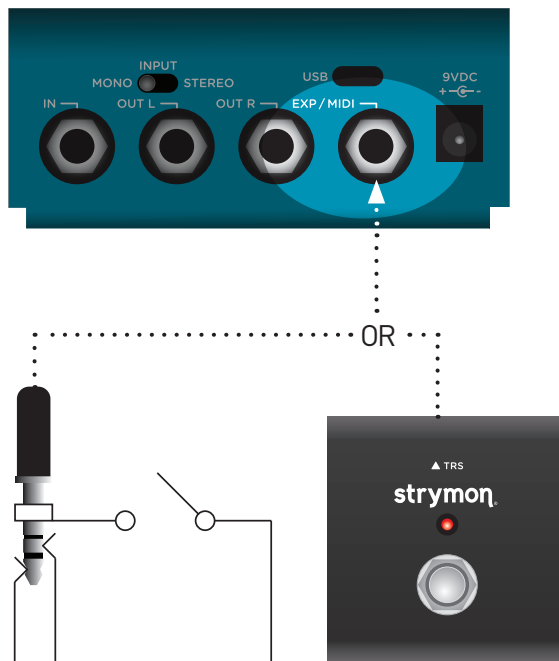
NOTE : エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

NOTE : blueSkyがMIDI EXPRESSIONに設定され、EXP/MIDIジャックがMIDIモードに設定されると、エクスプレッションペダルはMIDI CC# 100 でvalues 0 (ヒール) ~127 (トゥ) をペダルに送り、セットアップが完了します。

外部コントロール

フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペアモード

フェイバリット設定のリコールは、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。



- 1 EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。
(詳しくは12ページをご覧ください。)
- 2 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- 3 コントロールをFAV保存するサウンドに設定します。
- 4 FAV設定を保存するには、LEDがブルーに点滅するまで FAVスイッチを長押しします。
その後、再度LEDがブルーに点滅するまで、FAVフットスイッチを長押しします。
再度FAVフットスイッチを押して保存は完了します。

これで外部フットスイッチを押し、FAVセッティングとコントロール面のセッティングが切り替えられます。

外部コントロール

コンペアモード

FAVとMIDIプリセットがリコールされているとき、ノブやスイッチを変更しセーブされたプリセットポジションに合うと、両LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE : 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAV&MIDIセッティングとして保存されます。パワーアップモードはプリセットには保存されません。

NOTE : MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。
(詳しくは[19ページをご覧ください。](#))

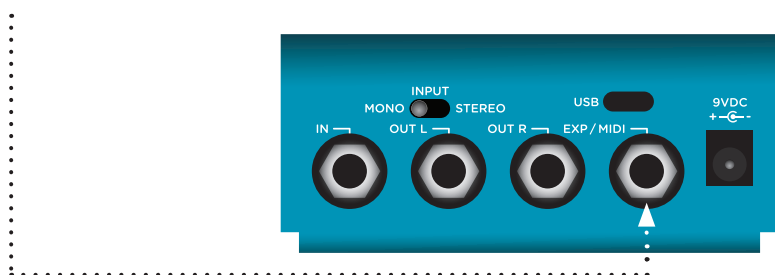
NOTE : FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

外部コントロール

MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusを接続し、3つのプリセットにリモートアクセスする設定方法です。

- 1 FAVフットスイッチを押したまま電源を投入します。
LEDの点滅が止まったらフットスイッチを離します。
- 2 DECAYノブを最小に回し（左に回し）、MIDIチャンネルを **1** に設定します。
FAV LEDは**グリーン**に点灯します。
- 3 PRE-DELAYノブを回し、次のMIDI OUTオプションを選択します。
両ON LEDが以下のように点灯します。：
 - MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト
 - MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
 - MIDI PC、他のデータを送る：**パープル**
 - 他のデータを送る：**アンバー**
- 4 MIXノブを右へ回しきり、EXP/MIDIジャックをMIDIモードにします。
ON LEDは**ブルー**に点灯します。
- 5 いずれかのフットスイッチを押し、MIDIチャンネル、MIDI出力セッティングを保存してプレイモードへ戻ります。
- 6 本機のEXP/MIDIジャックにTRSケーブルを接続します。



- 7 MultiSwitch Plusの **A**フットスイッチを長押ししながら、TRSケーブルをMultiSwitch Plusに接続し、プリセットモードを選びます。



外部コントロール

MultiSwitch Plus の使用法

MultiSwitch PlusでblueSkyのプリセットをセーブ&セレクトする。



NOTE : MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC (プログラム チェンジ) 1、2、3に相当します。

- 1 点灯していないフットスイッチを踏み、プリセットをリコールします。
- 2 点灯しているスイッチを押してblueSkyをバイパスします。

blueSky のプリセットを MultiSwitch Plus でセーブする：

- 1 セーブしたいサウンドを設定します。
- 2 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、blueSkyの両フットスイッチを長押しします。
- 3 MultiSwitch PlusのA、BまたはCスイッチを押しセーブ先を決めます。

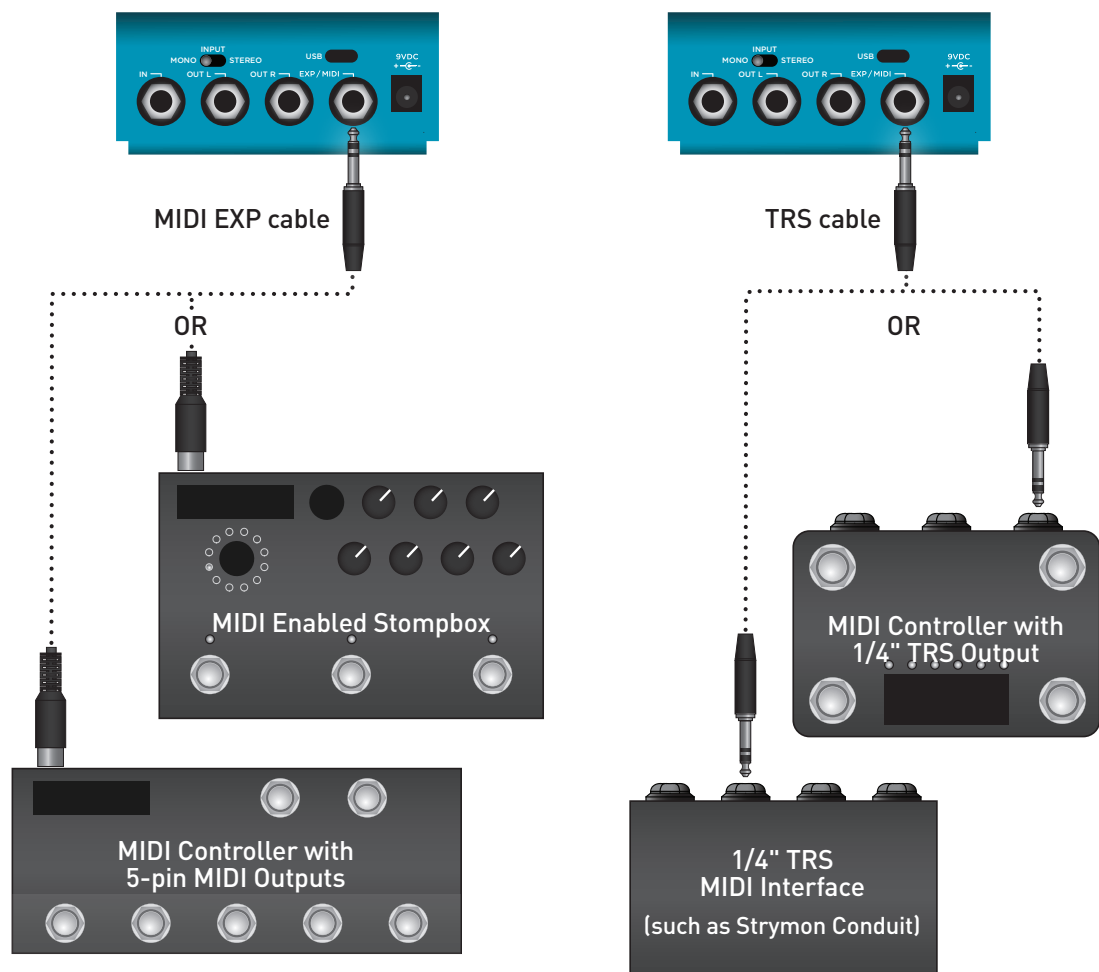
MIDI 機能

MIDI 使用の準備

blueSkyの EXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへアクセスできます。図のように1/4フォン出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブル、Strymon Conduitを使用します。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDI OUTモードはOFFにします。
(詳しくは23ページをご覧ください。)

strymon.net/support/bluesky-v2で適応機種を掲載しています。



MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 1 - EXP/MIDI ジャックを MIDI モードにセットする。

- 1 FAVフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 ON LEDがブルーに点灯するまで、MIXノブを時計回りに回します。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- ③ DECAYノブを回しMIDIチャンネルをセットします。
FAV LEDがステータスを表示します。：

- Channel1：グリーン(デフォルト設定)
- Channel 2：アンバー
- Channel 3：レッド
- Channel 4-16：ブルー（要1/4”MIDI接続）

FAV LEDが一度ブルーに点灯し、MIDIプログラムチェンジ（PC）メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、本機で使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- 4 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ設定が終了します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、**ONフットスイッチ**がバイパスの時に、CC#102で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、**ONフットスイッチ** LEDがon (点灯します) になります。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用してblueSkyへデータを送るだけの場合は、必ずMIDIOUTモードを**オフ**にしてください。(詳しくは、[23ページのMIDIOUTモードのセクションをご覧ください。](#))

NOTE : MIDIチャンネル設定は、フェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 3 - MIDI OUT モードの設定

- 1 FAVフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 LOWノブを回し本機から出力するMIDIデータを決めます。
両LEDが点滅してステータスを表示します。

- **OFF : レッド** - MIDIメッセージは出力されません。（デフォルト設定）
- **THRU : ブルー** - 本機が受けたMIDIメッセージをそのままMIDI OUTへ出力します。
- **センドCC、PC、OTHER : ホワイト** - blueSkyが出力するMIDI CC、PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドCC、OTHER : グリーン** - MIDI CC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドPC、OTHER : パープル** - MIDI PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドOTHER : アンバー** - MIDI Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。

- 3 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDI OUTモードがセーブされ設定が終了します。

MIDI 機能

MIDI モードにおけるプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- ① セーブモード（保存モード）へは、**FAVフットスイッチ**を長押しします。
FAV LEDが**ブルー**に点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表示します。



- ② 現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、**FAVフットスイッチ**をLEDが**ブルー**に点灯するまで長押しします。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、（現MIDIチャンネルで）MIDIプログラムチェンジを送ります。例：

- プリセットをセーブするのに、プログラムチェンジ#10をペダルのメモリーロケーションへ送ります。
- このプリセットをリコールするには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからプログラムチェンジ#10を送ります。

NOTE： ONフットスイッチを押してセーブをキャンセルします。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128（0-127）のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

- 0 FAVセッティング ([詳しくは15ページをご覧ください。](#))
- 1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- 2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- 3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- 127 マニュアルモード

NOTE：一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank（バンク）「0」が選ばれるため、プリセットは初めの 127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1または2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bankチェンジメッセージ（MIDI CC #0とMIDI Bank#）を送る必要があります。

バンク0&パッチ127（MIDIメッセージ）を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング（操作面の実セッティング）に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI スペシフィケーション

MIDI CCs

blueSky - MIDI CC NUMBERS			
CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	{0=Bank 1, 1=Bank 2, 3=Bank 3}
11	Verb Type	1-3	{1=plate, 2=room, 3=spring}
12	Decay	0-127	
13	Low	0-127	
14	Pre-Delay	0-127	
15	Mod Type	1-3	{1=off 1, 2=light, 3=deep}
16	Mix	0-127	
17	High	0-127	
18	Shimmer	0-127	
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
63	MIDI Clock Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
100	Expression Pedal	0-127	{0=heel, 127=toe}
102	Bypass/On	0, 127	{0=bypass, 1-127=on}

NOTE : 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター（1-127） = on で実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。

設定した機能やプリセットが全てファクトリーデフォルトセッティングに変更されます。

① ONフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらスイッチを離します。



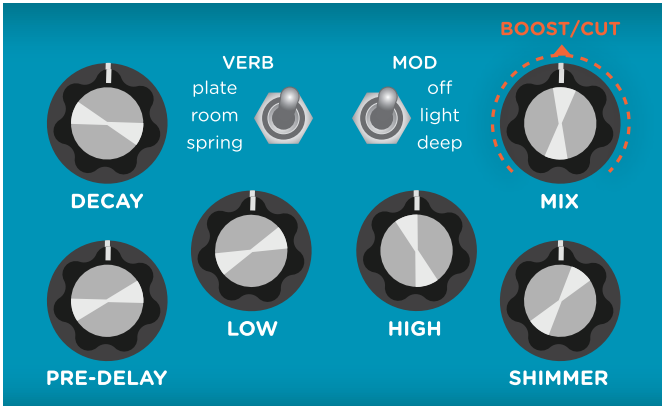
② PRE-DELAYノブを0から100%まで2度回します。

FAV LEDが色を変え、**レッド**の点滅まで変化します。

- Turn 1 : アンバー
- Turn 2 : レッド
- Turn 3 : アンバー
- Turn 4 : 両LEDが**レッド**。この後リセットが始まります。

ファクトリーリセット

FACTORY DEFAULT SETTINGS	
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression mode and configured to control the MIX knob
Input Level:	Instrument
Bypass Mode:	True Bypass
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Expression:	On
Live Edit Control BOOST/CUT	12 o'clock (unity gain) See page 7



Default Live Edit Control Setting

主な仕様

- 再構築されたコンピューター的に非常に複雑なplate、room、springアルゴリズムを使用。
- リバーブのディケイ信号を低域/高域のダンピングコントロールでフレキシブルなトーンコントロールが可能。
- 深さが切り替え可能なモジュレーションで美しいモジュレートリバーブが得られます。
- リバーブタイプにより、繰り返されるオクターブアップ、オクターブアップ+5th、パルス効果付きオクターブダウンのシマーがコントロールできます。
- エフェクト時の出力信号を+/-3dBブースト／カットが可能。
- コンバートされていない入力信号、アナログドライパスを採用。
- ステレオ入出力
- ツールバイパス（リレースイッチング）
- インストルメント＆ラインの両信号に対応可能な最大+10dBuのワイドヘッドルーム
- TRSエクспレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクспレッション入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- コンピューターとのMIDIコネクション、ファームウェアのアップデートが可能なUSB-Cジャック搭載。
- ハイパフォーマンス520MHz ARMスーパースカラープロセッサ
- 32-bit浮遊演算プロセッシング
- 高性能ウルトラローノイズA/D & D/Aコンバーター
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- ローインピーダンスステレオ出力
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入カインピーダンス	1 Meg Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	115 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm

電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。
9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

Appendix 1 : サンプルセッティング

Sample Settings

SHIMMERING HEIGHTS



MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

GUIDED VOICES



MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

LOW WAVES



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

SLAPPY SPRING



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

CHORDS IN THE FJORDS



MIDI Program Change 4

WOBBLY JOBBLY



MIDI Program Change 5

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

ジェネラル・オプション

- 1 **ONフットスイッチ**を長押ししながら電源を入れます。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップ設定から出ます。

入力レベル

図を用いた説明は [9](#) ページをご覧ください

DECAY ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
ステータスは **FAV LED** に表示されます。

- インストルメント：**グリーン** (デフォルト設定)
- ライン：**レッド**

バイパスモード

図を用いた説明は [10](#) ページをご覧ください

MIX ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
ON LED に表示されます。

- ツールバイパス：**グリーン** (デフォルト設定)
- バッファードバイパス：**レッド**

スピルオーバーモード

図を用いた説明は [11](#) ページをご覧ください

LOW ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。
両 LED に表示されます。

- オフ：**アンバー** (デフォルト設定)
- オン：**パープル**

ファクトリーリセット

図を用いた説明は [27](#) ページをご覧ください

PRE-DELAY ノブを 0% ~ 100% まで 2 度回します。
ステータスは **FAV LED** に表示されます。

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、パワーアップモードを実行する際にアクセスできません。通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

MIDI & Jack オプション

- 1 FAV フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。

EXP/MIDI ジャック MIX を回すと **ON LED** がチャンネルステータスを表示します。
モード

図を用いた説明は [12](#)
[ページ](#)をご覧ください

- エクスプレッション：**グリーン**（デフォルト設定）
- フェイバリット：**アンバー**
- MIDI：**ブルー**

MIDI チャンネル DECAY ノブを回すと **FAV LED** がチャンネルステータスを表示します。
図を用いた説明は [21](#)

[ページ](#)をご覧ください

- 1：**グリーン**（デフォルト設定）
- 2：**アンバー**
- 3：**レッド**
- 4-16：**ブルー**（受けた MIDI メッセージでチャンネルセレクトされます。）

MIDI アウトモード LOE ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。両
図を用いた説明は [23](#) LED に表示されます。

[ページ](#)をご覧ください

- OFF：**レッド**（デフォルト設定）
 - THROUGH：**ブルー**
 - ON CC、PC、OTHER：ホワイト
 - ON CC、OTHER：**グリーン**
 - ON PC、OTHER：**パープル**
 - ON OTHER：**アンバー**
-

Appendix 3 : ライブエディットコントロール クイックリファレンス

ライブエディットコントロール - クイックリファレンス

blueSkyには、特定ノブやスイッチのない幾つかの機能が隠されています。これらはプリセット毎にセーブできます。詳しくは7ページをご覧ください。

- 1 両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、**ONフットスイッチ**を長押しします。
- 2 フットスイッチを離し、次の説明に従って設定します。
- 3 **ONフットスイッチ**を押して、設定を保存しライブエディットモードから出ます。

BOOST/CUT

図を用いた説明は [7ページ](#)をご覧ください

MIX ノブを回すと、**ON LED** が**グリーン** (-3dB - ユニティゲイン) ~ **アンバー** (ユニティゲイン +3dB) でステータスを表示します。ユニティゲインのデフォルト設定は 12 時の位置です。

MIDI エクスプレッション

図を用いた説明は [8ページ](#)をご覧ください

VERB type スイッチを **plate** または **spring** 設定すると、両 LED が**ブルー** (オン、デフォルト設定) ~ **レッド** (オフ) でコントロールの変化に反応してステータスを表示します。

使用上のご注意

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

Strymon 限定保証（譲渡不可）に関する規定

保証について

Strymon は、正規 Strymon ディーラーから購入された場合、その製品と製品中のコンポーネントが、購入日から次の期間、材質および製造上の欠陥がないことを保証します。

製品保証が1年間となる製品

第一世代のペダル・・・blueSky、El Capistan、Flint、Lex、Deco、DIG
Brigadier、OB.1、Ola、Orbit、TimeLine、Mobius、BigSky

製品保証が2年間となる製品

上記以外のエフェクトペダル、ユーロラックモジュール、パワーサプライ製品、MIDI インターフェイス

※ 付属品のパワーサプライ、および、MIDI ケーブルアクセサリーについては、初期不良の場合のみ製品保証を適応させていただきます。

保証期間内に製品が故障した場合、Strymon 日本総代理店株式会社HotoneJapanが、最初の購入者に限り無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

免責事項

この保証は、ユーザーマニュアルに記載されている推奨の使用方法に従って、Strymon 製品を使用中に発見された製造上の欠陥を対象とします。この保証は紛失や盗難には適用されません。また、誤用、不正な改造、不適切な保管、落雷、または自然災害によって引き起こされた損害にも適用されません。上記の状況によって生じた損傷は、保証対象外の修理料金が発生する場合があります。

非正規販売店や海外から購入された製品は、この保証の対象外となります。保証は譲渡不可であり、中古品または譲渡された製品には適用されません。

保証範囲

故障の場合は、前項の通り、修理または交換の対応のみとなります。株式会社HotoneJapanは、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、当社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。